

育児休業取得者座談会を行いました！



伊豆箱根バスでは男性の育児休業の取得に積極的に取り組んでいます。育児休業は原則として子が一歳の誕生日を迎えるまで取得できる公的制度で、取得中は一定の要件を満たせば国(雇用保険)から給付金が支給される他、社会保険料も免除になります。2022年10月からは新たに出生時育児休業(産後パパ育休)も創設され育児休業と合わせ合計4回に分割し取得が可能となるため、これまで以上に取得がしやすくなります。今後もより一層の取得の推奨に力を入れていきます。今回は育児休業を取得した経験のある男性社員のみによる座談会の様子を掲載します。

参加者(4名)	 A.S(25歳)営業事務員として勤務	2022年7月に長男誕生	1カ月間取得
	 R.S(29歳)営業事務員として勤務	2021年3月に長男誕生	2カ月間取得
	 T.O(32歳)営業事務員として勤務	2022年6月に長女誕生	10日間取得
	 T.H(32歳)自動車整備士として勤務	2022年3月に長男誕生	5日間取得

●育児休業を取得した経緯を教えてください

-  A.S: 最初は取れるわけないと思い考えてすらいなかったですが、会社から取得を勧められました。「やれるところはやっておくから取った方が良いよ。」と上司や同僚に言って頂き、取得を決めました。
-  R.S: 育児休業を取ったことがある方が同じ職場にいらっしゃったので話を聞き、取りたいと思いました。



-  T.O: 取得は考えていませんでしたが、会社からの勧めで取ろうと思いました。
-  T.H: 本社の方に勧めて頂いたことと、奥さんのリフレッシュになればと思ったのが取得した経緯です。僕の場合は子供が生まれて少し経ってからの取得でした。

●育児休業中何をしましたか？

 T.H: 上の子の子供園への送迎、公園に行く、他は家事全般やりました。また、子供を二人家で見つつ、奥さんには一人でショッピングに出かけてもらって一人の時間を楽しんでもらいました(笑)

 T.O: 育児全般(おむつ替え、ミルク、お風呂、遊ぶ、あやす)と家事(炊事洗濯、掃除)をやりました。

 R.S: 育児に積極的に取り組みました。ミルクやおむつ交換、散歩やお風呂、寝かしつけをしました。

 A.S: 家事全て、赤ちゃんのお風呂、奥さんと分担してお世話をしました。

●育児休業を取得して奥さんの反応はどうでしたか？

 T.O: 育児休業の取得中はお給料が出ない(給付金のみ)なのでお金の心配はあったようですが、家事や育児を手伝ってもらえて助かったと言っていました。

 A.S: 最初は仕事を休んで大丈夫なのかと心配していましたが、途中からは育児休業を取得していなかったら育児や家事が回らず無理だったと言われ、感謝をしてきていました。

 R.S: よく怒られたりもしていましたが(笑)
やはり生まれてすぐが一番手がかかるので、助かったと言ってくれました。

 T.H: もちろん喜んでいましたが、取得する自分よりも色々な事を心配していて、働いている自分が、取得する事で周りにとやかく言われたり、今後働く上で足かせになるようなことがあれば取得をする必要はないよ。と言ってくれました。



●おすすめの子供が遊ぶスポットはありますか？

-  T.H: 僕は伊豆市に住んでいるのですが修善寺虹の郷はおすすめです。
あとは電車で三島市の楽寿園も行ったります。年パスも買いました。
広いところで子供を放牧します(笑)
-  R.S: 僕は函南町に住んでいますが、めんたいパーク伊豆がおすすめです。
2階には子供が遊べる広めの無料スペースがあります。
あとは柏谷公園も芝生が広くていいですよ。
-  T.O: おすすめというか授乳室などがしっかりある施設をよく利用します。
ヨーカドーとかよく行きます。



●育児休業を取って良かったこと、悪かったことを教えてください

-  R.S: 子供と多くの時間を過ごせたことや、育児や家事の大変さが身に染みてわかりました。悪かった点としては
当時はバス運転手として勤務していたので2か月間空いたことで空白ができ、感覚を戻すのに少し苦労しました。
-  A.S: 奥さんを休ませてあげられたことと、育児の大変さを学べたことです。
悪かったことは業務で他の方に迷惑をかけたのではと思っています。
-  T.H: 奥さんには休んでもらい、子供とはたくさん遊ぶことが
出来て良かったです。悪かったことは特にありません。
-  T.O: 子供の成長が見れたことが良かったです。悪かったことはありません。



●育児休業中一番感じたことを教えてください

 T.O : 一回で長く取るよりも小刻みで取れた方が負担が少ないのではないかと感じました。また、時短勤務も出来たらより助かります。

 A.S : 赤ちゃんの可愛さ、旦那さんの育児についての重要性、また世間的な育児休業に対しての考え方(浸透の薄さ)を感じました。

 R.S : 育児に関われる嬉しさと、後はもっと育児休業が取りやすい世の中になってほしいなと感じました。

 T.H : 元気盛りの3歳児と首の座らない赤ちゃんの二人を同時に見なくてはいけないのはとても大変でした。



●育児休業をまた取りたいと思いますか？

 R.S : 思います。周りにも勧めていきたいです。

 A.S : とても思います。

 T.H : 機会があれば取得したいですし、
機会がある職場内の人間がいれば推進していきたいです。

 T.O : 思います。一回長くより、小刻みに取ればより良いです。



・管理課長より

今回、初の試みとして〔男性社員【育児休業】取得者〕に、取得後の感想を伺いました。

女性の育児休暇・育児休業の取得については、かなり定着してきていると感じますが、男性の取得はいかがでしょうか？

男性の場合、女性の取得よりも職場のサポート体制、周囲の理解の無さ、また取得期間中の収入の不安等が大きな壁になっているようで、意識が浸透し定着するまでには暫く時間がかかるように思います。

2022年10月に、男性も積極的に育児に参加出来るよう育児休業法が改正されました。今までよりも育休が取得しやすくなり、社会情勢も少しずつ男性も育休を取る方向へ進んでいます。男性の育休取得は、育児に対するお互いの負担を軽減するだけでなく、日々成長する子供とのかけがえのない時間を過ごせる貴重な時間になると思います。

今後は、制度を分かり易く周知する等、性別や職種に関係なく【育休】が取得しやすい環境を構築していきたいと
思います。最後にお忙しい業務の中、座談会へご参加
いただきありがとうございました。皆さんが“取得して
良かった”と感じられて、とても良かったと思います。

